

# 県民の友

昭和62年  
6月号

発行/和歌山県 知事公室 広報企画課 TEL640 和歌山市小松原通1の1 ☎0734(32)4111 No.566



グリーンピア南紀で

## 熊野は日本人の

### 心のあることですね

仮谷志良知事  
梅原猛さん(哲学者)

で学生時代を送っているんですね。

梅原 知事さんは京大を昭和二十二年卒だそうですね。私は二十三年卒ですが、戦争に行った期間は

知事さんの方が長いわけですね。

梅原 私らの時代はいちばん精神的な悩みがあつた時代ですね。国のためにというので戦争を行つて、それで負けると、戦争に行けといった人たちが今度は戦争反対ばかりいっている。だからデカダンスというのかな、そうしたものを感じました。今、あのころの悩み、苦しみといったものがいちばん心の糧になつていますね。

梅原 私もほとんど同じですね。私が戦争から持つて帰つた教訓は、一つは日本に対する深い愛情なんですね。と同時に、ああいう時代のこのような日本であつてはならないという二つのものです。ああいう戦争中の伝統だけが日本の伝統なら、これは困るんだ、もうちよつと違つた伝統がなくてはならないというところが私の学問的な出発点なんですよ。それで結局縄文までいったわけなんですね。

知事 先生はもう十回ほど熊野へ来られたということで、熊野についても非常に造詣がお深く、私たちも大変うれしく思っております。先生はいろいろなことをやつておられますのが最も興味があるのは…。

梅原 私が今いちばん興味を持つていることと熊野とがつながりがあるんです。つまり、日本文化のいちばん深層にあってその後の日本文化を規定しているものは何か

といふ関心をずっと持ってきた。日本というのは農耕以前の狩猟採集段階の文明が世界的に非常に発達してゐるんですね。これを縄文文化といふんですが、土器を持った精神的にも物質的にも高度な文化が栄えたんですね。それが最も残っている場所の一つがこの熊野だと私は思つてゐるんですよ。

知事 先生と私は同じように京都で

1面(二)

昭和62年6月1日 知事 それで先生は古い日本について研究されたわけですか。

梅原 はい。農耕や牧畜が始まる大規模な自然の破壊が始まっています。同時に人間のごう慢が始まると太く限まできています。それが今、極限まできています。

それで、もう一回、自然の中にいる神様、自然といっしょにいる人間というものを見直さなくちやならないと思っているんですよ。

梅原 はい。農耕や牧畜が始まる大規模な自然の破壊が始まっています。同時に人間のごう慢が始まると太く限まできています。それが今、極限まできています。

## 県民の友



梅原猛さん

梅原 はい。農耕や牧畜が始まる大規模な自然の破壊が始まっています。同時に人間のごう慢が始まると太く限まできています。それが今、極限まできています。

梅原 はい。農耕や牧畜が始まる大規模な自然の破壊が始まっています。同時に人間のごう慢が始まると太く限まできています。



あげいん熊野詣

梅原 熊野三山が聖地になつてい

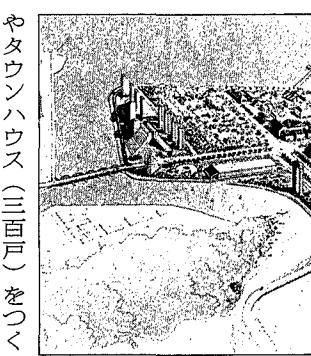
く過程で一つの軍事力になつてしまつたといわれていますね。

源平合戦のときにも熊野水軍の活躍があつたといわれていますね。

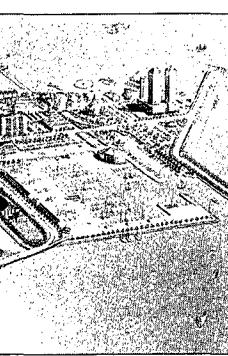
梅原 はい。狩猟採集の時代にはまだ、平安時代から蠍の熊野詣といつて呼ばれていた。そこはもう極楽ですね。非常に豊かな生産力を持っていた。

うめはら たけし  
大正14年、仙台市生まれ。京都大学文学部卒。立命館大学教授、京都市立芸術大学学長を経て、現在、国際日本文化研究センター所長、日本文化デザイン会議代表。

これは毛見地区沖の公有水面六十九ヘクタールを前島方式で埋立て、マリーナ、ホテル、マンションをはじめ、さまざまな施設を配置するもので、昭和六十八年の開港式に際して、日本で初めての国際的都市近郊型海洋レクリエーション複合施設です。



構想では施設は次の七つのゾーンから成っています。  
マリーナゾーン  
ヨットハーバー、クラブハウスなど国際的に通用し、また広く市民が親しめる第一級のマリーナです。



アクトライブゾーン  
海洋研究所、国際会議場、ホテル、レストラン、大ショッピングセンター、観光魚市場、世界のフアッシュションを集めたワールドバザールなど。

魚釣りゾーン  
子どもからお年寄りまで安全に魚釣りが楽しめます。

スパートナーゾーン  
テニスコート、大プール、アスレチッククラブなど四季を通じてスポーツが楽しめます。

和歌山コーナー  
博物館、民芸館、物産店、ふるさとレストランなど和歌山のすべてを案内するコーナー。

公共公益ゾーン  
治安と行政サービスなどを担当する地域。

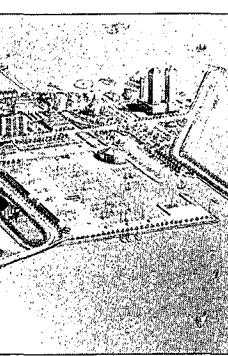
私も御燈祭りに参加してタイマツを持ったことがあるんです。白いものを着て死者の國へ行ってまた帰ってくる。再生する。これは熊野詣そのもので、熊野はやっぱ

獣文化があつたんですよ。そこに農耕文化が入ってきた。そして都

ができた。そして十世紀の古今集のころに、もう一度ふるさとの深層の文化に日本人が郷愁を感じた。だからそのころ熊野詣が始まるんです。だからずっと続いて十三、四世紀に最盛でしょう。

知事 ええ。上皇が百回以上お参りになり、若いも若きもやってきた。あれだけ多くの人がやってきてたというのは日本人の心のふるさとというのかな、そういう感じもするわけです。それから海では熊野水軍が有名なんですよ。このあたりも行き交つたんでしょうね。

和歌山市南部に都市近郊型海浜レクリエーション施設として、和歌山マリーナシティを開発することで株式会社と基本的に合意し、県庁内に建設推進協議会を設置しました。



県では和歌山市南部の毛見地区で和歌山マリーナシティを開発す



梅原 あれもいいんです。見る祭りとしては最高です。何か他所から来た人々を土地の神が迎えるという感じがしますね。

知事 あれは神武天皇のいわれがあるんですよ。那智の火祭りにしても御燈祭りにしても火の祭りが多いんですね、このへんは、それから熊野水軍にちなんで、船の祭りも多い。

梅原 火の祭りはね、縄文の祭りなんですよ。

知事 各地で引張りだこですよ。梅原 今までの文化というのは何かしかつめらしいんですよ。文化というのは楽しいことだというの

がメンバーの意識なんですね。だからいろいろなジャンルがあるけどみんな楽しんでるんですよ。どんなに忙しくてもそのメンバーは自分で来て楽しむ。

知事 私たちも和歌山県の素晴らしい伝統をもう一度見直すとともに、日本の文化だけじゃなしに世界の文化にも貢献できるようにしたいと考えているわけなんです。

梅原 やはり、これからは一方で先進文化、工業文化が発達しますからね。ところが、工業文化だけではやっていけない。人間が自然に帰れるところが必要なんですね。そういうふうに考えると、これはどう自然に恵まれ、歴史にも恵まれたこの地方は、ただのレジャーランドということだけじゃなしに、プラスアルファを持った地域として今後発展する可能性があります

梅原 はい。これは非常に地の利を得ていますからね。素晴らしいものができるんじゃないかと思っていますけどね。

知事 最初に火を見た喜びというか、エネルギーが伝わってきますね。私の県にはこうした熊野の文化と高野山の文化があるわけでして、そうした古い歴史を持つているんですが、それで先生にお願いして来年「日本文化デザイン会議」というのをこの熊野の地で開いていただくということになったのですね。この会議について簡単にお話しいただきたいのですが。

梅原 和歌山県てのは非常に面白いところだと思います。一方にわざわざ会なんですが、もう八年になりますね。そのメンバーが草柳大蔵さんとかね、黒川紀章さん、本の縮図のように縄文地帯と弥生地帯とがあるわけですね。素晴らしい五本そろって生まれてき

## 県民の友



仮谷 知事

梅原 あれもいいんです。見る祭りとしては最高です。何か他所から来た人々を土地の神が迎えるという感じがしますね。

知事 あれは神武天皇のいわれがあるんですよ。那智の火祭りにしても御燈祭りにしても火の祭りが多いんですね、このへんは、それから熊野水軍にちなんで、船の祭りも多い。

梅原 火の祭りはね、縄文の祭りなんですよ。

知事 各地で引張りだこですよ。梅原 今までの文化というのは何かしかつめらしいんですよ。文化

がメンバーの意識なんですね。だからいろいろなジャンルがあるけどみんな楽しんでるんですよ。どんなに忙しくてもそのメンバーは自分で来て楽しむ。

梅原 はい。これは非常に地の利を得ていますからね。素晴らしいものができるんじゃないかと思っていますけどね。

知事 最初に火を見た喜びというか、エネルギーが伝わってきますね。私の県にはこうした熊野の文化と高野山の文化があるわけでして、そうした古い歴史を持つているんですが、それで先生にお願いして来年「日本文化デザイン会議」というのをこの熊野の地で開いていただくということになったのですね。この会議について簡単にお話しいただきたいのですが。

梅原 和歌山県てのは非常に面白いところだと思います。一方にわざわざ会なんですが、もう八年になりますね。そのメンバーが草柳大蔵さんとかね、黒川紀章さん、本の縮図のように縄文地帯と弥生地帯とがあるわけですね。素晴らしい五本そろって生まれてき

ししい自然があり、また先進工業地帯があるというのが大変和歌山県にふさわしいと思います。

知事 和歌山県の二十一世紀を考えた場合にこれからやつぱり先端産業も必要です。そしてまた、文化を見直さなきゃならんと。この両面があると思うんですね。

梅原 やはり、これからは一方で先進文化、工業文化が発達しますからね。ところが、工業文化だけではやっていけない。人間が自然に帰れるところが必要なんですね。

梅原 はい。これは非常に地の利を得ていますからね。素晴らしいものができるんじゃないかと思っていますけどね。

知事 ふるさとのいいところを見直すとともにまた批判していくだとかくということで、私たちも非常に大きな期待を持っているわけです。

梅原 和歌山県てのは非常に面白いところだと思います。一方にわざわざ会なんですが、もう八年になりますね。そのメンバーが草柳大蔵さんとかね、黒川紀章さん、本の縮図のように縄文地帯と弥生地帯とがあるわけですね。素晴らしい五本そろって生まれてき

ね。私もまたそれをお手伝いしたいと思っていました。

知事 また先生には来年いろいろ

日本文化デザイン会議

一九七九年、アメリカのコロラド州アスペンで「JAPAN」(日本と日本人)をテーマに開催された「アスペン国際デザイン会議」を契機に、我が国でも翌年各分野から五十人の発起人が集まり、梅原猛さんを代表に発足しました。

会員は文学、哲学、評論、編集、デザイン、建築、経済、都市計画、写真、映像など多くの分野のトップクラス約百人。(1)一九九〇年へ

の新しいデザイン思想の展開(2)二〇〇〇年までのわれわれの世代の責任③各分野の横の交流④民間の

国際交流⑤地域分野の五つに焦点を合わせ、イデオロギーにとらわれない、あらゆる人に開かれた文化運動として幅広く活動していくことをいう会議です。

一九八〇年の横浜会議を皮切りに仙台、金沢、神戸、札幌、大分・熊本、広島の各会議がもたれ、大会・熊本会議では延べ二万四千人、広島会議では延べ一万五千人の参加がありました。今年は長野で開催予定。和歌山県では来秋、熊野地方を中心に開かれることになります。

## 同和連載 読んで

田辺市田辺第一小学校二年 板木平 操

**「さつちゃんのまほうの手」を**

わたしはじめ、「さつちゃんのまほうの手」という本のだいを読んだ時、まほうの手と書いてあるから、「何か樂しいことができる手なのかな」と思って読みはじめました。

でも、本の中のさつちゃんは、なみだをいよいよためて、なげているのです。さつちゃんは、お母さんのおなかの中にいる時、お話を聞いてあげているところを読んで、さつちゃんのつらい氣もちは手や足がちゃんとついて生まれてきたわたしたちのつらい氣もちは、ぜんぜんくらべられないといふことがわかりました。

わたしは、よくそるばんの帰りに、足のないおじさんを見かけます。この本を読む前のわたしは、そのおじさん

の足のことを「ふしぎでおもしろい人だな」と思っていました。

もし、さつちゃんが、うちの学級にても、さつちゃんが、うちの学級にても、さつちゃんが、うちの学級にても、さつちゃんが、うちの学級にても、

つちゃんがおなかの中にいる時のお話を書いてあげているところを読んで、さつちゃんのつらい氣もちは手や足がちゃんとついて生まれてきたわたしたちのつらい氣もちは、ぜんぜんくらべられないといふことがわかりました。

わたしは、さつちゃんが、うちの学級にても、さつちゃんが、うちの学級にても、さつちゃんが、うちの学級にても、

# 土砂災害から 命を守るために 6月間 6月1日~30日

梅雨、台風、集中豪雨……これから雨の季節です。土砂災害は雨が引き金となって起こります。

山が迫り、急な斜面の多い地形と、新たな宅地造成などから、県下の要注意箇所は現在3,702カ所となっています。

早急な防災工事の実施とあなたの的確な避難判断が被害を最小限にい止めます。

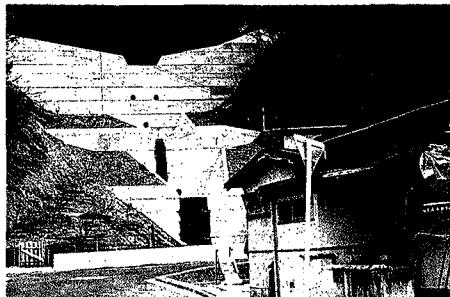
6月は土砂災害防止月間、今一度、身近に危険なところがないか点検し、危険な時の避難方法などを家族みんなで考えましょう。

## 各地で進む土砂災害対策 59億2,930万円

県では、各地の危険地域で砂防事業や急傾斜地崩壊（かけ崩れ）対策事業、地すべり対策事業に力を注いでいます。

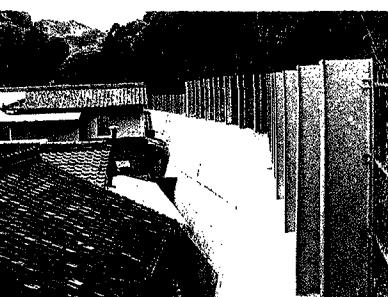
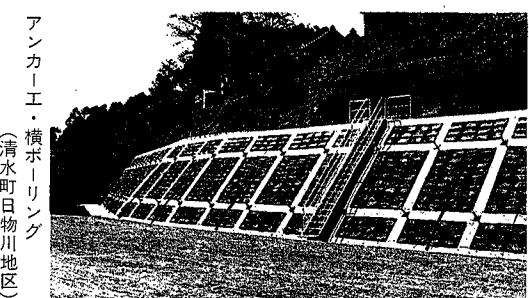
昭和61年度は総額57億200万円、268カ所で対策事業を実施し、今年度も、59億円余りを予算化し県下271カ所で対策工事を進めます。

人命や財産を守るため最も効果的なものは砂防ダムの建設です。砂防ダムは土石流の原因となる土砂の流出を防止し、また、土石流そのものを受け止める働きをします。今年度は西山谷川（貴志川町）、後代谷川（上富田町）、観音谷川（すさみ町）など、86カ所で対策工事を行います。



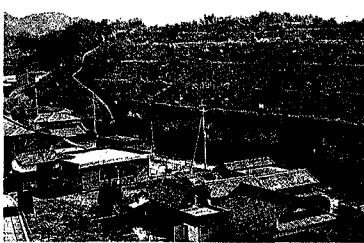
砂防ダム  
(すさみ町周辺  
中の谷川)

地すべりは粘土などの層に地下水が作用して起こります。対策としては地下水を抜くためにボーリングや集水井戸の設置を行います。また、地すべり土塊を取り去ったり、直接、地すべり土塊を押さえる杭打工、アンカー工などを行います。今年度は清水町の日物川地区など、24カ所で工事を行います。



擁壁工 (那智勝浦町下和田地区)

危険な傾斜をゆるく切土して表面を固定したり、がけ下に擁壁を設置することにより人家、人命などを守ります。また危険地でのがけ崩れを誘発するような行為などを制限したりしています。今年は急傾斜地崩壊対策事業が実施されて20周年を迎えます。県でも重点事業として、有田市の辰ヶ浜地区や那智勝浦町小匠地区など161カ所の工事を進めます。



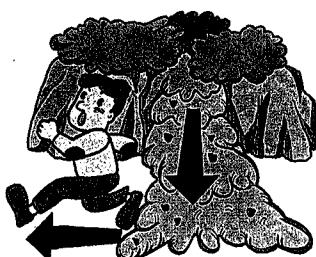
切土工 (桃山町調月地区)



ブロック枠工 (かつらぎ町広口地区)

### 避難3か条

- 危ないと思ったら勇気のある避難を。
- 避難場所を決めておこう。
- 流れと直角に逃げよう。



5 昭和62年6月1日



学校ぐるみで歯みがきに取り組む(海南省日方小)

今、県下で239人が主に歯科医師について県歯科衛生会の田中旬子会長に聞いてみました。

歯科衛生士のお仕事は

歯の健康管理  
指導などを行っています。最近は



## なたの歯は 健康ですか

歯科医院でも、ブラッシングコーンを設けたりして、虫歯や歯槽のう漏の予防に入力を入れています。

歯の寿命を伸ばすには

甘いもの避けたり、カルシウムやたんぱく質など栄養のあるバランスのとれた食事をすることも大事ですが、一番大切なのは毎日の正しい歯みがきです。また、定期的に(半年、もしくは一年に一度)歯の検査を受けるのもいいですね。そして、虫歯や歯槽のう漏になってしまったら、早いうちに治療することです。

どうしたら上手な歯みがきができるか

「みがいてる」と「みがけている」は違います。自分でみがけては

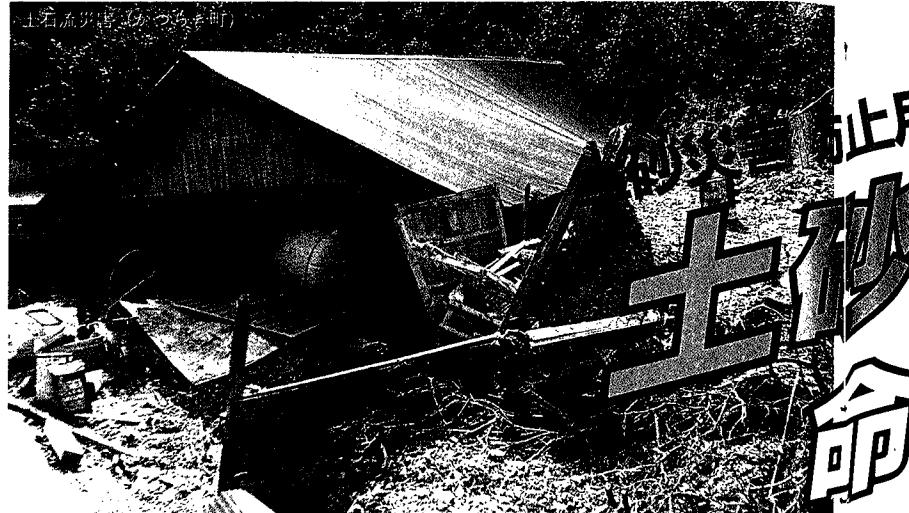
所で適したみがき方を組み合わせることができます。

歯みがきを長く続けていくには

いるとしても、みがけていない所から歯は傷んできます。歯科医師に歯垢や歯石のつき具合をチェックしてもらい、自分の歯のみがけていない所を知り、自分の歯に合ったみがき方をすることが大事です。歯のみがき方は、歯にブラシを当て、細かく振動させるスクラーピング法、円を描くように向にブラシを回転させるローリング法などがありますが、小さい子

どもなどには難しいものもあります。また一つのみがき方でなく場合があるのが効果的です。

みんなの歯はいかがですか。今一度、ご自分の歯を点検してみませんか。



## こんな場所が危険です

### 土石流

大量の土石が水と混じり泥状となって流れるもので、大きな岩も巻き込んでいることが多い、その破壊力は土砂災害中最大。また流れる速さも時速20km~40kmと速く、恐ろしい災害です。

- 裏山に急な谷川がある所
- 谷の出口が扇状地になっている所
- 川の中や家のまわりに大きな石がごろごろある所



### すべり地

粘土層や弱い土層を境に、上の地面がそっくり動き出すもので、移動速度は遅いが規模が大きく被害も大きい災害です。

- 土地に亀裂や陥没、隆起のみられる所
- 木や家が傾く所
- 池や沼、井戸などの水が急に増えたり濁つたりする所



### がけ崩れ

傾斜の急な斜面が急に崩壊し、がけ下の家などをつぶしたりします。発生の予測が難しく、人命に被害を与えることが多い災害です。

- 傾斜が30度より急な斜面
- せり出している斜面
- 浮石や亀裂、わき水がある斜面



## こんなときは要注意

- 1時間に20mm以上強い雨が降ったり、降り始めてから雨が100mm以上となるような大雨のとき。
- 雨が降っているのに谷川の流れが止まったとき。
- 井戸やわき水の水量が急に変化したり、濁ったりしたとき。
- 斜面に亀裂や落石が生じたとき。
- 立木の折れる音や異常な音がしたとき。







## 県民の友

## 緑を身边に…緑化フェスティバル開催



21世紀への活力と魅力あるまちづくり  
—今私たちに何ができるか?

ふるさと活性化に  
論議はずむ  
— 県政サロン —

仮谷知事がご婦人方から直接ご意見をお聞きし、県政に反映させようと昨年から始めた県政サロンも11回目を迎えました。今回は、5月7日、新築なった和歌山ターミナルホテルで開催され、「21世紀への活力と魅力あるまちづくり—今私たちに何ができるのかー」をテーマに活発に話し合われました。

参加者は、コーラスやボランティアなどいろいろな活動をされている30人のご婦人方でした。今後多くの人に参加して頂けるよう県政サロンを続けていく予定です。

(和歌山市)

好天に恵まれた5月10日、岩出町の県植物公園緑花センターの豊かな緑と自然の中で、緑と健康のかかわりと緑化の大切さをPRする緑化フェスティバルが開かれました。

当日は緑の羽根の募金活動、県警音楽隊による野外コンサート、緑化苗木の無料配布などが行われました。また上岩出青空生活改善グループによる山野草料理は特に人気を集め、参加者は山菜ごはんなどに舌づみを打ちました。

この緑化フェスティバルは今年11月にも同センターで開催が予定されています。  
(岩出市)

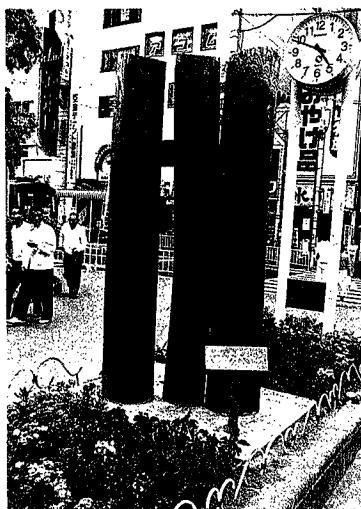


5月12日、田辺市上秋津駐在所が新築完成しました。今、県では「心ふれあうまちづくり」「個性あるまちづくり」をテーマに紀州ふるさと運動を進めています。木のもつ素朴な感じを生かして木の国のイメージに合った地域のシンボルにしようとこの駐在所は建てられました。

間伐材をふんだんに使った建物は一見すると今までの駐在所にない温かみをもっています。

地元ではこの駐在所が住民と警察官の交流の場となり、よりよいふるさとづくりに役立つことを期待しています。  
(田辺市)

## 親しみやすい駐在所完成



(和歌山市)

5月9日、JR和歌山駅前に一風変わった旅の三人連れがおりたちました。とはいっても彫刻のお話。県が、紀州「木の国」PRのため、「木のオブジェ」を駅前に設置したもの。

作品は県立和歌山工業高等学校教諭の三宅利彦さんが設計、デザインしたもので、作品名は「旅」。3本のケヤキの大木を削り、組み合わせて旅の三人連れや家族連れが紀州路を旅行するイメージを表しています。皆さんも一度、ごらんになつてはいかがですか。

5月9日、JR和歌山駅前に一風変わった旅の三人連れがおりたちました。とはいっても彫刻のお話。県が、紀州「木の国」PRのため、「木のオブジェ」を駅前に設置したもの。

作品は県立和歌山工業高等学校教諭の三宅利彦さんが設計、デザインしたもので、作品名は「旅」。3本のケヤキの大木を削り、組み合わせて旅の三人連れや家族連れが紀州路を旅行するイメージを表しています。皆さんも一度、ごらんになつてはいかがですか。



みかん船から豪商へ



## あとがき

趣味読書

アンケートなどに当然のように答えていましたが、よく考えてみると、週刊誌などは月に数冊読んでいるものの、文学、専門書などを最近は手にしていないに気づきました。

今回、対談していただいた梅原猛さんの「学問のすすめ」、「謎の十字架」、「法隆寺論」を読み、忘れていた読書の大しさと面白さを久しぶりに思い出しました。

3年(江戸)深川で六十六歳の生涯を閉じました。紀文が出航したといわれる下津の港は今は石油の港となってしまいましたが、秋ともなると、まわりの山々は黄金色に染まり、山々をぬって走るトラックがみかんを東へと運んでいます。

まだ一隻、荒波の中へ船を出し、見事に江戸へみかんを運びます。この冒険が江戸っ子の人気を集め、文平は一躍有名になり、以後江戸で商才を発揮します。江戸での相次ぐ大火で建築材が不足しているのに目をつけて、駿河から木材を運び、材商紀伊国屋として巨万の富を得ます。

しかし、貨幣鑄造事業の失敗などから一世にして没落、晩年は俳句に専念し、享保十九年(一七三四年)江戸深川で六十六歳の生涯を閉じました。

紀文が出現したといわれる下津の港は今は石油の港となってしまいましたが、秋ともなると、まわりの山々は黄金色に染まり、山々をぬって走るトラックがみかんを東へと運んでいます。

みかん船から豪商へ